

週報 No.2306号

## 本日の例会（第2307回） 平成29年10月17日(火)

### 予定行事



★卓話 テーマ「認知症予防の為に」

卓話者：竹井 三千彦 会員

略歴：入会年月日：2006年4月11日

生年月日：1940年11月5日

職業：株式会社代表取締役

職業分類：システム開発

ロータリーでの活動歴

2006年度 親睦活動委員会

2007～'08年度 副幹事

2009年度 第41代幹事

2010年度 会長エレクト

2011年度 第43代会長

2013年度 学生交換姉妹ツイン特別委員長

2014～'15年度 ロータリー財団副委員長

2017年度 米山奨学会委員長

2016年度 米山奨学会副委員長

2017年度 米山奨学会委員長

趣味：船釣

☆定例理事会④ 13:45～ 事務局にて（理事会構成メンバー）

### 国際ロータリー 第2660地区 片山ガバナー講演より



2017-18年度 国際ロータリーカンパニー会長 イアン・ライズリー氏が掲げるRIテーマ  
「ROTARY : MAKING A DIFFERENCE」  
ロータリー：変化をもたらす

「世界には120万人の会員があり、その一人一人が独自の目標と優先を掲げ、独自の解釈でロータリーを理解しています。ロータリーにとって重要なことは、「どのような団体か」ではなく「何をしているか」です。過去112年間に、ロータリーは徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら大きく変わってきましたが、根底にあるものは変わりません。それは、奉仕を通じて地域社会と世界に変化をもたらしたいという願いであり、ロータリーはそれを実現できる人が集まった組織であるということです。

ロータリアンは、どのような奉仕の方法を選んでも、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことができます。各ロータリークラブが、それぞれ独自の奉仕の方法を選択することが重要であり、それが今年度のテーマです。」

(裏面につづく)

次回例会のお知らせ [第2308回・平成29年10月24日(火)]

★秋の職場見学親睦家族旅行（職業奉仕委員会、親睦活動委員会）  
—— 株青木松風庵 岬工場見学、道の駅みさき店  
がんこ お屋敷・岸和田五風荘で夕食 ——

★お食事はミリオンランチです。  
★例会場 4F 真珠の間

前回例会（第2306回・10月3日（火））の報告

- ・来客紹介 6名  
(2660地区内 4名・地区外 0名・ゲスト 2名)
- ・出席報告

	9月5日	9月12日	9月26日	10月3日
会員総数	43名	43名	43名	43名
出席免除会員数	14名	14名	14名	14名
欠席会員数 (内、出席免除会員数)	9名 (3名)	17名 (7名)	11名 (4名)	12名 (7名)
出席率	85.00%	72.22%	82.05%	86.11%
修正出席率 (メキャップ数)	95.00% (5名)	88.89% (6名)	—	—

・ラッキーくじ

賞品名 『商品券』

賞品提供者 高林 行辰 会員

当選者 隅防 武司 会員  
高士 誠司 会員

参加者数 18名

・卓話

テーマ「ガバナー講演」

卓話者：国際ロータリー第2660地区ガバナー  
片山 勉氏

・その他

「新入会員候補者推薦カードについて」

尾下 千明 委員長

(表面のつづき)

R I 第2660地区ガバナー方針

ガバナー方針は、このR I 会長テーマをうけて『個性を活かし、参加しよう』と決めました。これはロータリーの基本理念と奉仕活動の充実と実践を表しています。

具体的目標

- ①基本理念と奉仕活動の実践
- ②戦略計画（将来構想）の推進
- ③公益財団法人ロータリー米山記念奨学生財団設立50周年
- ④ポリオ撲滅
- ⑤公共イメージ向上

ロータリーの基本理念である「奉仕の理念」の根幹は、親睦と職業奉仕です。ロータリーはリーダーシップと人材育成の場であり、若い世代には人生が変わる機会であり、中堅世代には自己啓発の機会、年長世代には次の世代に伝える機会があるでしょう。

そして、ロータリーの奉仕活動は、年齢・性

会員名	ニコニコ事由
全出席会員	=片山ガバナーをお迎えして。
古市 仁	=誕生日
"	=お陰様で81才を元気に迎えられました。
隅防 嘉之	=誕生日
小嶋 敦	=誕生日
高士 誠司	=ラッキーカード当選
"	=妙中さん、ウナギおいしかったです！
井上 芳郎	=ラッキーカード当選
隅防 武司	=ラッキーカード当選
藤井 進次	=月初にあたり。
藤岡 靖夫	=（2015年度米山奨学生 ムスカさんを訪ねて） 無事にウランバートルから帰って来ました。小山さんには大変お世話になりました。
小山 登	=藤岡会員と弥次喜多でモンゴリアの人と文化にふれて参りました。藤岡会員、大変お世話になりました。
"	=月初にあたり、日頃の誼に感謝。
芦谷 裕一	=小山さん、藤岡さん、モンゴルまでお疲れ様でした。
弓田 浩司	=先月の会長・幹事慰労会は皆様ありがとうございました。
竹井三千彦	=話題の小池さんで一句『年増でも 婚入り希望者 多数居り』
柴崎 秀樹	=今朝、ゾンビに襲われる夢で目が覚めました。起きてからも体がだるいです。
阿江 秀典	=今日も皆様、ニコニコありがとうございます。

別・職業を異にする多様な会員が、各自の特性に応じて参加することに意味があります。例えば、若い世代は行動力、テクノロジー、情報力を活かし、中堅世代は知識、企画力、熱意を活かし、年長世代は経験、人脈、資金、時間を活かして、それぞれロータリーの奉仕活動に参加することができます。各ロータリークラブは、「魅力ある・元気のある・個性のある」クラブを目指して戦略計画（将来構想）を立案・推進してください。

また、地域の特性やニーズに応じた奉仕活動を重点的に継続し、進化させ、ロータリーとは何か、何をしている団体なのかを地域社会に理解してもらうよう努めて下さい。

(つづく)